

12月定例会

●会期 12月4日～12月12日(9日間)

クマによる人的・農業被害 対策など全12議案を可決



12月定例会議案採決(議案第3号)

今回は	
市長提出議案	8件
請願	2件
陳情	1件
議員提出議案	4件

【議案第3号】令和7年度八幡平市一般会計補正予算(第6号)

**3億6595万円
増額補正予算可決**

歳入、歳出それぞれ3億6595万円を増額し、総額222億4593万4千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼生活困窮者冬季特別対策事業助成金
2240万円(増額)
- ▼除雪事業
1億1510万3千円(増額)
- ▼自立支援給付事業
3655万1千円(増額)

Q 灯油価格が高騰する中、1世帯当たり7000円の助成額は妥当か。市独自の上乘せは検討しなかったのか。

A 県の補助基準額に基づき予算措置を行った。市独自の上乘せは考えていない。今後は、県の基準額自体の引き上げを県へ働きかけることを検討するが、市単独での増額は現状困難である。

Q 松尾地区などで大量の降雪があった際、歩道除雪の遅れが市民から指摘されている。今回の増額補正で改善されるのか。

A 補正予算の増額分は、長期予報による除雪経費不足分の補充と、業務単価の上昇に対応するためのものである。除雪は午前3時の状況確認に基づき出動しており、車道の完了後に歩道を行うため、若干の遅れが生じる場合もあるが、除雪基準は全地区で統一されている。

Q 自立支援給付事業は3655万1千円の補正となっている。そのうち、扶助費の障害福祉サービス等給付費2201万3千円は、利用者数が減少しているにもかかわらず、大幅に増額している理由は何か。

A これまで在宅で生活していた障がいのある方が、同居する親の高齢化や病気により自宅での生活が困難となり、施設へ入所するケースが増加したことに伴う補正である。この傾向は今後も続く可能性がある。

【陳情第2号】綿帽子温泉館に関する陳情書

**綿帽子温泉館廃止
民間施設の活用を**

陳情趣旨

(陳情者Ⅱ吉岡貢) 綿帽子温泉館の廃止を求める。さらに施設の廃止に伴い、民間の温泉施設の活用を求める。

▼産業民生常任委員会の審査結果
不採択とすべきものと決定

合併時の取り決めにより旧3町村に高齢者等温泉館施設が設置されることが定められたが、民間温泉施設の利用については事業者と協議されていない。また、既に施設改修の工事契約の準備が進んでおり、中止は困難である。一方、施設の老朽化に伴う財政負担の増加が懸念されるため、市当局は十分に協議し、施設の役割や将来の方向性を検討する必要がある。

■本会議決議結果 不採択

【発議案第1号】「第3期県立高等学校再編計画(修正案)」における平館高等学校家政学科の募集停止に関する意見書

**平館高校再編計画
県に再検討を要望**

岩手県の「第3期県立高等学校再編計画(修正案)」で、平館高等学校の家政科学(家庭)科が令和7年度までの入学志願者の状況などを踏まえて、令和9年度に募集停止となる案が示されました。八幡平市議会として地域の意思を表明し、計画の再検討を強く求める必要があるため、県へ意見書を提出するものです。

【発議案第4号】有害鳥獣(ツキノワグマ)による人的・農業被害の深刻化に伴う抜本対策の実施に関する意見書

**クマ被害の深刻化
市民の安全を守る**

昨今、有害鳥獣の中でも特にクマによる被害が全国的に深刻化しています。本市は山林地帯に位置し、被害の最前線であり、市民の不安が非常に大きくなっています。政府の対策はあるものの根本的な解決には至らず、不安は続いています。本市議会は市民の安全を守るため、国および県へ意見書を提出するものです。

**教育予算の確保と
教職員の定数改善**

請願趣旨

【請願第3号】ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・教育予算の拡充を求める意見書採択の請願書

(請願者Ⅱ岩手県教職員組合いわて盛岡支部支部長 青野大祐) 高校の学級編制基準は依然として40人であり、35人学級の早期実施が必要である。教職員の長時間労働や多様な課題に対応するため、教職員定数の改善も求められる。また、自治体格差を解消し、国が責任を持つて教育予算を確保し、少人数学級の推進や働き方改革を進めることが重要である。これらの実現に向け、国への意見書提出を請願する。

▼総務教育常任委員会の審査結果

採択すべきものと決定

子どもたちの多様化する課題に対応し、教育の機会均等と水準維持のためには、教職員定数の改善が不可欠である。そのため、国が責任を持つて財源を保障し、教育予算を確保すべきであると考える。

■本会議決議結果 採択

**過剰な教育内容の
是正を国へ求める**

請願趣旨

【請願第4号】「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願書

(請願者Ⅱ岩手県教職員組合いわて盛岡支部支部長 青野大祐) 不登校の増加や貧困・いじめ、教職員不足が深刻化する中、教職員の長時間労働も解消されず教育時間が不足している。次期学習指導要領改訂では、豊かな学びと働き方改革のため、過剰な教育内容(カリキュラム・オーバーロード)の是正が急務である。学習指導要領の内容精選と早期改善を国に求める。

▼総務教育常任委員会の審査結果

採択すべきものと決定

不登校や教職員不足、長時間労働が続く中で、過剰な教育内容が子どもや教職員の負担となっている。指導要領の精選により、「カリキュラム・オーバーロード」を改善し、豊かな学びを保障すべきである。

■本会議決議結果 採択

質問した事項

- 関 治人 議員（八起会）**……………06
- ・県境を越えた自治体連携の推進について
 - ・第81回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会の開催について
 - ・グリーンパワー稲庭田子風力発電事業について
- 渡辺 義光 議員（市民クラブ）**……………07
- ・佐々木市長の政治姿勢について
 - ・市議会議員のなり手不足解消と主権者教育について
 - ・岩手山焼走り国際交流村の再開と将来展望について
- 勝又 安正 議員（八起会）**……………08
- ・安代りんどうのさらなる振興について
 - ・広報活動事業について
 - ・防災行政無線整備事業について
- 北口 功 議員（無会派）**……………08
- ・河川の水害対策と環境保全について
 - ・上下水道事業について
 - ・芸術文化事業について
 - ・改正道路交通法の施行に伴う啓発の在り方について
- 工藤 多弘 議員（松西会）**……………09
- ・野生動物対策について
 - ・平舘高等学校の支援について
 - ・自主防災組織の設立について
- 井上 辰男 議員（八起会）**……………10
- ・市長2期目の市政運営について
 - ・クマの被害防止対策について
 - ・通学路の安全確保について
- 高橋 悦郎 議員（日本共産党）**……………10
- ・クマから市民の安全を守る対策について
 - ・市コミュニティバスにおけるデマンド実証運行について
 - ・岩手山焼走り国際交流村について
- 熊澤 博 議員（自由クラブ）**……………11
- ・市政2期目の所信表明について
 - ・会計年度任用職員の在り方について
- 山口 朋文 議員（無会派）**……………12
- ・市内における風力発電開発の現状と条例改正の必要性について
 - ・観光振興の評価とさらなる進展に向けた取り組みについて
- 齊藤 隆雄 議員（日本共産党）**……………12
- ・介護保険制度について
 - ・物価高騰への支援について
 - ・加齢性難聴の支援について
 - ・田山グラウンドの活用、整備について



せき 治人 議員
(八起会)



鹿角市連携公約の実現は 総合的な協議が始まった



花輪地区の33カ所を巡回するバス

問 市長選の公約である鹿角市との交通連携は、田山地区だけでなく館市地区の住民にとっても病院や買い物の重要な足となる。実現に向けてどのように取り組むのか伺う。

市長 鹿角市とは現在もさまざまな連携があり、交通連携を含めて総合的な協議を既に開始している。

問 鹿角市の循環バスへのアクセスは利用者にとって利便性が高い。これを手段の一つとして検討すべきではないか。

市長 循環バスに関しても調査を進める予定である。

問 2027年に開催予定の冬季国スポは、リハーサル大会がないため、県大会で本番と同様の準備をして臨むべきではないか。

市長 実行委員会設立前に現場からのヒアリングを行い、必要なものは順次準備していく考えである。

問 ジャンプ台の県営化については県議会でも取り上げられた。冬季国スポの開催を機に実現に向けて攻勢を強めるべきではないか。

市長 これまで以上に県に対して強いメッセージを発信していきたい。

問 稲庭田子の風力発電事業者からの地域振興策については、地域性を十分に考慮すべきではないか。

市長 市と事業者の間で協議を進める。



わたなべよしみつ
渡辺義光 議員
(市民クラブ)



焼走り国際交流村の休業 再開に向けて鋭意検討中



交流村の活用をみんなで考えよう

問 岩手山焼走り国際交流村は指定管理者の辞退により11月1日から完全休業になった。35年前、西根町の観光振興を目指し天文台などの第一期工事に関わった一職員として無念の思いである。早期再開に向けての総合的な改善、展望を伺う。

市長 焼走り熔岩流や交流村全域の施設は市の重要な観光資源である。温泉施設やコテージなど民間事業者の知見を取り入れ幅広い観点から有効活用を検討する。施設確認、修繕工事、財政状況などの要因を勘案して一日も早い再開を目指す。

市長の政治姿勢

問 9月28日投票の市長選挙は、市政を継続し全身全霊で市政の発展に取り組むと公約した佐々木市長が無投票で再選された。市長が掲げている公約を総合計画などにどう反映する考えか。

市長 1期目に掲げた公約はおおむね市民から「評価」いただいた結果と認識している。人口縮小する中でも「市民が幸せを感じ、次世代に希望をつなげていく」ことを念頭に各種施策に反映する。文化芸術に触れる機会の拡充、充実に努める。

子ども議会の成果

問 11月15日開催の市制20周年記念子ども議会は生徒の主権者教育として高く評価する。今後の展開案は。

教育長 子どもたちから提案された貴重な意見や考えを総合計画などに反映する。



かつまた やすまさ
勝又安正 議員
(八起会)



安代りんどうの振興

百年産地の研究開発



令和7年度の花き振興大会の様子

問 日本一の産地を維持するには、最も重要な需要期に安定して出荷できる高品質な品種の開発が必要である。今後の対策は。

市長 需要期に対応する品種「安代の夏」と「安代の輝き」の開花期の拡大を最重要として取り組んでいる。

また、株の状態の良い親株を選抜し、強い品種の育成と交配試験を進めている。

問 輸出事業および海外戦略の今後の展開を伺う。

市長 花き市場を通じて年間約1万本の安代りんどうを輸出している。さらにルワンダ共和国へ知的財産権

を輸出し、現地法人ブルーム・ヒルズ・ルワンダに栽培許諾を行っている。同法人は年間約270万本の安代りんどうを生産しており、支援を継続する予定である。

広報はちまんたい
問 市政情報や市民活動を発信し、行政と市民間で情報を共有する広報誌の成果指数が90%と高い。この高い指数をどのように維持していくのか。

市長 多様な市民活動を幅広く紹介し、有益な情報を提供することで満足度の維持につなげる考えである。

防災行政無線

問 過去には放送が聞きづらいとの苦情が多かったが、最近の状況はどうか。

市長 読み上げ速度の調整や屋外スピーカーの向きの変更、デジタル化を進めたことで改善されてきている。



きたぐち いさお
北口 功 議員
(無会派)



河床掘削で水害対策を

河道掘削工事を予定



ヨシが生い茂った米代川の上流部

問 米代川上流部の河床ブロックにヨシが繁殖し、今年は川一面に広がった。増水被害を恐れて親戚宅に避難した住民もあり、対策が求められている。なぜ河床ブロックにヨシが繁殖したのか。

河床の洗掘低下を抑制し護岸基礎を保護するため、川幅の拡幅工事とともに河床ブロックを設置した。今後定期的な土砂撤去を行い、河川管理を徹底する。

水道料金の推移は
問 市政20周年を迎え、合併前からの老朽化対策が必要になっている。20年間の水道料金の推移と、整備・補修に関する国への要望や計画はあるか。

市長 平成7年の出水時に、

併前からの老朽化対策が必要になっている。20年間の水道料金の推移と、整備・補修に関する国への要望や計画はあるか。

市長 合併後、各町村料金の平準化のため平成25・26年に段階的な改定を実施し、令和元年10月の消費税改定

以降は料金を据え置いている。公的機関である日本水道協会などに要望しているほか、市が策定した上下水道計画に基づき、施設の更新や改修を進めている。

新劇場の計画は
問 市民センターに代わる施設計画の実現性はあるか。

市長 具体的な構想はまだないが、八幡平市文化芸術推進基本計画を基に、市民センターの活用を含め、既存施設の改修利用の可能性調査や改修費用の算出を予定している。



くどう たひろ
工藤多弘 議員
(松西会)



平館高等学校の存続

学校存続に尽力していく



市内で唯一の高校「平館高校」

問 市内の中学校からの進学率が低い理由について、どのように分析しているか。

教育長 平館高等学校への進学率が低い主な理由としては、盛岡市内の私立高校への進学希望者が増加していることが挙げられる。また、部活動の選択肢が少な

いことも進学率に影響を与えている。

問 市外からの生徒の入学者数も成果指標に含めるべきではないか。

教育長 市外生徒の入学者数を成果指標に加えることについては、今後検討する必要がある。今年度から「お

ためし地域留学」という取り組みを行い、県外の中学生を対象に平館高等学校や八幡平市の魅力を伝えるイベントを実施した。今後は市外生徒受け入れに向けた取り組みを強化し、成果指標の変更についても検討を進めていく。

野生動物の対策
問 野生動物の増加に対応するための計画は。

市長 鳥獣被害防止計画を策定し、捕獲活動を実施している。電気柵設置費や放置果樹撤去のための新たな補助を検討し、猟友会支援

と報酬増額も予定している。

自主防災組織設立
問 自主防災組織設立の進捗状況について伺う。

市長 自主防災組織は3団体が設立済みである。令和8年度中に全市での設立に向けた活動を強化している。



井上辰男 議員
(八起会)



問 市民センターは、建設から44年経過しており、対応をする時期ではないか。
市民部長 動線や舞台周りなど、使い勝手がよくないとの要望があり、その点も参考に基本計画の中で既存施設の有効活用調査・検討を進めていく。

問 高齢者や障がいのある方にも配慮した空間づくりが必要ではないか。
市民部長 皆さんの利便に即する配慮も必要と思っている。エレベーターの案内板掲示も周知を図っていく。
問 学校統廃合の跡地活用として、パークゴルフ場を

造れないか。
企画総務部長 学校統廃合に係る跡地利用は重要な課題と捉えている。地域の意見を踏まえ検討を進めていく。
クマ被害防止対策
問 人口減少や過疎化によって、容易に餌にありつ

ける人里へのクマ出没が常態化するのではないか。
産業建設部長 クマを人里へ誘引させない取り組みとして、来年度、誘因果樹の伐採補助を検討している。また、そのクマが有害個体であれば、極力捕獲、捕殺していく考えである。

問 冬眠しないクマがスキー場や人の生活圏に出没する可能性がある。散歩やごみ出しでの注意を徹底する必要があるのではないか。
産業建設部長 生ごみ、クマを誘引する物を残さないなどの形で人身被害の防止に向け、周知徹底する。



昭和56年建設の市民センター

文化施設の整備について 基本計画を策定し検討



高橋悦郎 議員
(日本共産党)



デマンド運行いつから 松尾地区で4月から予定



市コミュニティバス（市役所前）

問 中型バスを使った定時定路線運行のコミュニティバスを廃止し、電話またはスマホで乗車場所を予約し、目的地まで短距離で運行するデマンド運行を始めると説明があったが、いつから始まるのか伺う。
市民部長 令和8年4月から

ら松尾地区で本格的に運行を開始したい。また、西根エリアでも本格運行を進めていく予定である。
問 デマンド運行は、これまでのコミュニティバス運行业者に委託するのか。
市民部長 西根エリアを含めた本格運行を考えると、

現在のコミュニティバス運行业者だけでは、運転手確保が厳しいと考えている。そのため、市内の他の運行业者にも協力をお願いしたいと考えている。
焼走り国際交流村
問 「株式会社宿かり屋

ドットコム」は、なぜ約7千万円もの負債を抱えて「焼走り国際交流村」の経営を断念したのか伺う。
産業建設部長 コロナ禍や光熱費の高騰、人件費の上昇が主な要因であると考えられる。
問 令和3年度には約46

00万円の累積赤字があった。4年度の2回目の指定管理者契約時に、負債のない令和元年度の決算を参考にしたい理由は。
産業建設部長 経営がかなり厳しい状況にあることは把握していた。今後は、再発防止に努めていきたい。



熊澤博 議員
(自由クラブ)



文化施設建設の考え方は 文化芸術推進基本計画で



西根地区市民センター

問 市政2期目の所信表明の1点目のテーマである「ゆとりと潤いのある市民生活の実現」の文化施設建設の考え方について伺う。
市長 本年度策定の市文化芸術推進基本計画の取り組みとして、既存施設の有効活用について調査検討を行

う。市民センターの活用も選択肢の一つとして検討しつつ可能性調査や改修費用の計算を進める予定である。
問 市民センターは防衛施設庁の補助によるもので、処分制限期間は50年である。残り6年は待機が必要とのやり取りがあった。町村合

併時に、役場庁舎と同様に中心地構想であるべきとの考えはあったのか。
市長 建設場所の構想については承知していない。新市建設計画に記載はあったが、建設後の運営を含め議論は行ったものの、具体的な話には至っていないかった。

無償化への対応は完全給食へ見直し
問 政府による小学校給食の無償化が来年度から進められる見通しである。完全給食への見直しについてどのように進める考えか伺う。
教育長 現在の部分給食か

ら完全給食へ切り替え、米飯提供を実施するには給食施設の改修や設備の新設が必要である。整備には一定期間を要すると見込んでいる。国の無償化制度設計が現時点で確立しておらず、4月からの米飯提供開始は難しいと考えている。



山口朋文 議員
(無会派)



市内の風力開発の現状は

2事業で11基が進行中



山筋の尾根を削り設置された風車
(JRE折爪岳南第一風力発電所)

問 現在、市内で計画されている風力発電事業の数は、市長 二戸市と本市にまたがり計32基を設置する稲庭風力は本市に4基、二戸市と田子町から本市にまたがり計24基を設置する稲庭田子風力は本市に7基。2つの事業が計画されている。

問 風車の騒音や低周波音による健康への影響に対する市の対応や検証体制、市民参画の仕組みづくりは、市長 地域共生のための市民参画の仕組みづくりは困難だが、環境保全協定を事業者と結び、問題や苦情があった際に市が指導に入る。

問 市内に60基が計画されていた八幡平風力発電事業について把握しているか。まちづくり推進課長 令和3年に計画されたが、計画書の作成には至っていない。

問 乱開発を規制する景観保全条例の制定や設置規制など条例改正の考えは。まちづくり推進課長 現時点では条例改正の考えはないが、今後の状況を注視していく。

問 外国人観光客の誘致だけでなく、国内観光の回復や地域経済への波及を重視した観光振興の計画と市民協働の仕組みづくりは、市長 次期観光振興計画の策定に向け、自然環境や食など地域資源を生かした観光推進と市民協働の環境づくりなど、多様な仕組みの可能性について幅広く研究していく。

観光振興の対応策

問 外国人観光客の誘致だけでなく、国内観光の回復や地域経済への波及を重視

ペイペイ決済事業の目的

幅広い業種の消費拡大を



斉藤隆雄 議員
(日本共産党)



ペイペイ加盟店のぼり

問 キャッシュレス決済に限定しない方法はなかったのか伺う。

市長 共通商品券事業は利用者の認知度が高く、幅広い年齢層に浸透している。一方、利用される店舗は大手企業を含めた小売業が9割を占めるため、幅広い業

種での消費拡大を期待できるキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施した。

訪問介護の再開は

問 安代地区の訪問介護サービス再開は、福祉部長 訪問介護はどの地域でも必要なサービスで

あり、体制整備が望ましい。サービスの担い手と何度か協議したが、具体的な方向性は示せていない。国の介護報酬改定の動向を注視し、関係機関と協議を続ける。

高齢者は聴力低下

問 当市の健康診断などに

聴力検査の項目は含まれているのか伺う。

福祉部長 健康増進法および高齢者の医療の確保に関する法律には聴力検査の項目が定められていないため、当市では聴力検査を実施していない。

問 加齢性難聴と認知症の

関係についての見解は。

福祉部長 認知症と加齢性難聴の関係については、認知症の進行原因の一つとして難聴が考えられる。早期に治療や補聴器を使うことで認知症の進行を遅らせられれば、国も支援する可能性があると考えている。

議会の動き

(令和7年10月9日～令和8年1月6日)

10月

- ▶9日 令和7年第3回臨時会
- ▶10日 盛岡北部行政事務組合議員全員協議会
- ▶20日 令和7年10月盛岡地区広域消防組合議会定例会
- ▶23日 宮古市・八幡平市姉妹都市議会議員交流会(～24日)
- ▶27日 議員全員協議会、令和7年盛岡北部行政事務組合議会第2回定例会
- ▶28日 議会広聴広報常任委員会視察研修(～30日)、盛岡広域環境組合議会議員全員協議会、令和7年10月盛岡広域環境組合議会定例会
- ▶30日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査(例月現金出納検査)、盛岡広域環境組合監査(例月現金出納検査)

11月

- ▶5日 盛岡地区広域消防組合議会議員視察研修(～7日)
- ▶15日 令和7年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」
- ▶16日 会派視察研修(自由クラブ・日本共産党・松西会)(～18日)
- ▶19日 岩手県市議会議長会議員研修会
- ▶25日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査(例月現金出納検査)、盛岡広域環境組合監査(例月現金出納検査)
- ▶27日 令和7年11月岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- ▶28日 議会運営委員会

12月

- ▶4日 令和7年第4回定例会(～12日)、議会広聴広報常任委員会
- ▶5日 産業民生常任委員会
- ▶8日 総務教育常任委員会、産業民生常任委員会
- ▶9日 総務教育常任委員会
- ▶10日 議会運営委員会、議会改革推進会議
- ▶12日 議員全員協議会、議員研修報告会、議会運営委員会
- ▶17日 議会改革推進会議議員研修会、議会運営委員会
- ▶18日 議会広聴広報常任委員会
- ▶24日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査(例月現金出納検査)、盛岡広域環境組合監査(例月現金出納検査)

令和8年1月

- ▶6日 議会広聴広報常任委員会